

u - J a p a n
生活シーンイメージ図

(その 2)

【おじいちゃん・おばあちゃんとお孫さんの場合】

AおじいちゃんとBおばあちゃんは、孫のCちゃんがかわいくてたまらない。そういえば、今日はCちゃんの誕生日。さっそく、AおじいちゃんはCちゃんにコンタクト。Cちゃんはちょうどアニメソフトを見ていたところに、「誕生日のプレゼントは何がいい？」とのAおじいちゃんの声。「水族館に行きたい」と回答すると、「おじいちゃんがアクセスし、料金を払っておくから、好きなだけ見てごらん」。Cちゃんは大画面のハイビジョンテレビに移動し待っていると、目の前に突然サメが現れビックリ。もっとアップで見たいという指示に画面が反応し、スリル満点で楽しいな。Cちゃんの満足な様子に、Aおじいちゃんも満足。

Bおばあちゃんは、Cちゃんにごちそうを用意するため、スーパーマーケットに買い物へ。何はともあれ、ユビキタス端末で履歴情報をチェックすることは欠かせない。だって、Cちゃん健康は何より大切だから。

そういうBおばあちゃんはプレスレット型の健康診断機を付けており、体温・血圧・脈拍等の情報をリアルタイムで病院に転送している。どうも最近血圧が高めのような。

それはさておき、ショッピングの支払いの方は、電子決済システムを導入しているので、レジに並ぶこともなくスムーズに終わった。早く帰って、お料理、お料理。



【ディレクターの場合】

ディレクターのDさんは、今日も一日、ダンサーのリハーサル風景を立体映像でチェック。各地に散らばっている一般の方々の意見を取り入れながら、本番に向けてテキパキと指示を送っている。

乗りに乗ってきているところだが、スケジュール等を管理するエージェント・ロボットから、「15分後に次のアポイント」とのお知らせ。そろそろ収束させなくては。。。

行き of 電車の中では、最近はじめた中国語をeラーニングコンテンツで猛特訓。骨振動システム付きのメガネを使用するようになってから、どこでも勉強できるので便利だ。でも、帰りの電車の中は、疲れていて勉強する気にはならない。そういえば、今、F1中継をやっている時間だ。電子ペーパーを広げて見ることにしよう。

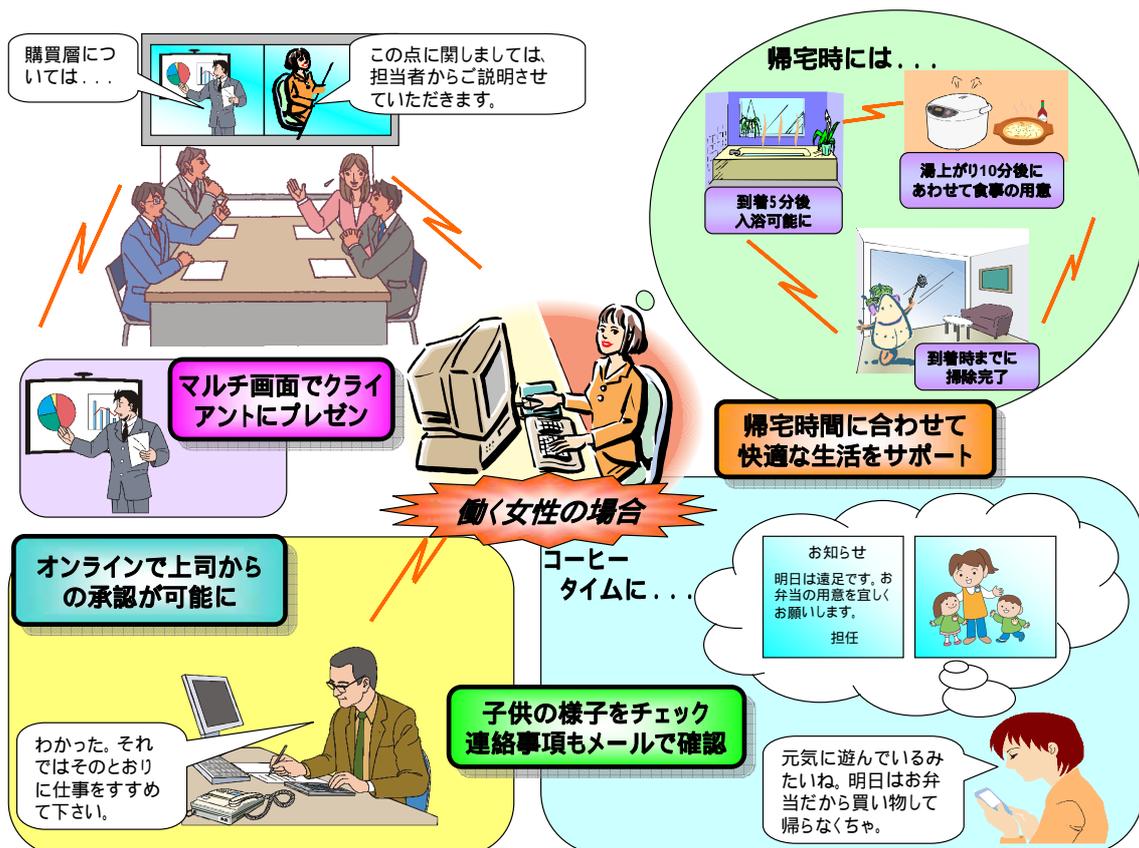


【働く女性の場合】

子育てをしながらEさんは、自宅近くのサテライト・オフィスに通っている。今日は、都心のクライアントへのプレゼンテーションの日。ただ、本日はいつもとは違ってかなり専門的な内容なので、同じく地方にいるFさんにプレゼンターをお願い。代わりにEさんは、クライアント側からのいかなる注文にも対応できるように、オンラインで上司に伺いを立て、即決できる体制を確保。ビジネスチャンスは逃さないわ。

一息ついてコーヒータイム。保育園に預けているGちゃんの様子をユビキタス端末でチェック。元気に遊んでいるようだ。あっ、そうそう、明日は遠足だっけ。忘れていた。お弁当とおやつを用意をしなくては。。

Eさんは仕事が終わる頃にはヘトヘトなので、Gちゃんを迎えに行き自宅に着いた頃には家事が終わっているようにしていきたい。そこで、今のうちに帰宅モードにセット。これで到着時間に合わせてお風呂の準備、部屋の掃除、食事の用意までやってのけてくれるから、世の中便利になったわ。



【障害者の場合】

目の不自由なHさんは、一人暮らしをしているが、家に引き籠もってばかりいるのを嫌う活動家。いつも愛用の杖を片手に診療所や友達の家、コンサート会場などいろいろなところに出没。なぜなら、杖にはナビゲーション機能が搭載されているので、道順を誘導してくれるし、危険物が近づけば教えてくれる。また、周囲を走っている自動車にも注意を促す情報を配信してくれから安心だ。

ただ、それでも不安に思うのは親心。「一人で大丈夫だ」というHさんではあるが、万が一に備えて、両親はリアルタイムでHさんの居場所が確認できるような手配だけは怠っていない。

Hさんにしてみれば、むしろ心配なのは留守中の防犯。そこで、不審な人物が留守中に近づくと、センサーが探知して警備会社に通報。さらに必要があれば、Hさん本人とご両親に連絡が送られてくるように契約済みだ。

